

AIで白黒つけます

崇城大情報学部 オセロでプログラム競う

崇城大情報学部の1年生約170人が13日、熊本市西区の同大で、人工知能(AI)を使ったオセロ大会にチーム対抗で挑んだ。1チーム7、8人の計24チームが出場。チームごとに約3週間か

けて、盤上の64マスに石を置く優先順位を決める「戦略ファイル」を作成。ファイルを基に制作したプログラムで対戦した。3回目となった今年は、3チームごとに予選を行い、1〜3位の順位別に分かれてトーナメントで勝敗を競った。



スクリーンに映し出されたオセロ大会の決勝戦を見守る学生ら＝熊本市西区

1位リーグ優勝チームの代表久末克弥さん(18)は「試行錯誤を続け、狙い通りに動くよう改良したことが勝負。運も味方にできた」と喜んだ。各リーグの優勝チームには1万5千円〜5千円分の学食券が贈られた。

(渡具知萌絵)